

# 平成16年第7回教育委員会記録

平成16年5月12日(水)

杉並区教育委員会

## 教育委員会記録

**日時** 平成16年5月12日(水)午後2時00分～午後2時26分  
**場所** 教育委員会室

**出席委員** 委員長 丸田 頼一 委員長 大藏 雄之助  
職務代理者  
委員 宮坂 公夫 委員 安本 ゆみ  
教育長 納富 善朗

**欠席委員** (なし)

**出席説明員** 庶務課長 和田 義広 学校運営課長 馬場 誠一  
学務課長 井口 順司 施設課長 吉田 順之  
指導室長 松岡 敬明 中央図書館長 倉田 征壽  
社会教育 武笠 茂 中央図書館 清水 文男  
スポーツ課長 担当書記 佐藤 守

**事務局職員** 法規担当係長 石井 康宏

**傍聴者数** 3 名

### 会議に付した事件

#### (議案)

議案第34号 杉並区立郷土博物館運営協議会委員の委嘱について

#### (報告事項)

- (1) 年度別学校希望制度実施結果について
- (2) 平成16年度区立幼稚園園児在籍状況について
- (3) 杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認一覧

## 目 次

会議録署名委員の指名について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

### 議案審議

議案第34号 杉並区立郷土博物館運営協議会委員の委嘱  
について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

### 報告事項

- (1) 年度別学校希望制度実施結果について・・・・・・・・・・ 3
- (2) 平成 16 年度区立幼稚園園児在籍状況について ・・・・・ 4
- (3) 杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認一覧・・・・・・・・ 5

**委員長** ただいまから、第7回教育委員会定例会を開催いたします。本日の議事録の署名委員は、安本委員にお願いいたします。議事日程はご案内いたしましたとおり、議案が1件、報告事項が3件となっております。よろしくお願いいたします。では議案の審議に入ります。

日程第1、議案第34号「杉並区立郷土博物館運営協議会委員の委嘱について」を上程し、審議させていただきます。では社会教育スポーツ課長、お願いいたします。

**社会教育スポーツ課長** 議案第34号「杉並区立郷土博物館運営協議会委員の委嘱について」の説明をさせていただきます。今回この議案を提出する理由は、「委員の退任のため、新たに委嘱する必要がある」ということで、これは運営委員の中で学校教育関係者の2人について、今回校長の異動があり、退任後の補充を小・中校長会に依頼していたところ、2名の推薦がそれぞれありましたので、その方々に委嘱するものです。1名は島貫金雄氏で、方南小学校校長です。もう1名、倉橋保恵氏は、大宮中学校校長です。

委嘱の期間につきましては、平成16年5月29日から、現委員の任期が切れず平成17年5月13日ということになっております。私のほうからは以上です。

**委員長** ご質問、ご意見はございますか。ご異議はございませんか。

(異議なし)

**委員長** それでは、原案どおり可決いたします。ありがとうございました。

続きまして日程第2、報告事項の聴取に入ります。初めは、「年度別学校希望制度実施結果について」、「平成16年度区立幼稚園園児在籍状況について」、2件を一括して学務課長からご説明をお願いいたします。

**学務課長** 私から2件ご報告させていただきます。初めに、年度別学校希望制度の実施結果です。この資料は、毎年の学校希望制度の申請がそれぞれの年度の左側にある申請件数で、秋に申請の時期がありまして、それが実際4月の入学の中でどのような形になったかを整理させていただいているところです。全体的に申し上げますと、平成13年度のいちばん下の中学校計をご覧ください。希望申請の数が486、これに対して2つ右側の欄に275という数字がありますけれども、こちらが実際4月7日に希望申請先の学校に入った生徒の数です。平成13年の場合は486名に対して275名で、約56%ほどでありました。これが14年度になりますと62%、15年度では63.4%ということで、この部分は中学校でよく伸びております。

例えば13年度で申し上げますと、45%ぐらいのお子様が、希望申請はしたけれども私立や国立の別な学校に行っていたのが、だんだんその割合が減ってきてまして、15年度の希望申請の中では666名の希望者に対して、422名が実際に入ったということです。その割合が増えてきているとい

う傾向が、この3年間の中でのひとつの特徴です。

あとは個別の学校のお話になってしまいますが、資料のとおり指定校変更が浜田山小学校、高井戸中学校において多くご覧いただけるかと思えます。こちらについては、学校希望申請の中でも抽選をさせていただいているわけですけれども、それに漏れた方、あるいはそれぞれご事情はあるかと思えますが、その中で指定校変更制度によって、浜田山小学校、高井戸中学校に入った生徒が資料に書いてある数だけいるという状況でございます。

それから区域外就学ということで、特に18番目の桃井第四小学校がずっと10名台の数が区外から入ってきています。こちらにつきましては、ご案内のとおり桃井第四小学校が練馬区との区境にある中で、区域外就学の申請が多いという状況が、この結果にも現れていると思えます。こちらの学校希望制度の実施結果についての報告は以上です。

続きまして、平成16年度の区立幼稚園園児在籍状況でございます。こちらの資料のほうは、5月1日で捉えさせていただきました。合計の欄で申し上げますと、4歳児、5歳児合わせて566名のお子様が入っています。前年が552名でしたので、若干ですが14名ほど伸びております。そういう中で定員に対する充足率も今年度は73.7%と、前年に比べて若干伸びております。それぞれの幼稚園には若干の増減がありますが、増えたところで申し上げますと下高井戸が4名増、成田西が5名増、高井戸西が12名増、西荻北が11名増です。逆に減りましたのが、高円寺北で6名減、堀ノ内が10名減といった状況です。この傾向については、なかなか絞り込んでご説明するのが難しいですけれども、全体的に住民登録上の4歳児、5歳児の人口も若干減ってきています。その中で区立幼稚園では、14名の増加がありました。私からの報告は以上です。

**委員長** では最初に、「年度別学校希望制度実施結果について」、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。

**大蔵委員** 高井戸中と浜田山小が多いということで、実際には定員の制限がありますので、抽選をして切っているわけですが、それだけですか。実際、私が品川で聞いたところでは、いい学校を希望しているのはすごく多いが、実際にはそこは私立との併願になっていて、公立のいい学校を希望している者ほど、私立のいい学校を希望しているのですね。実際には来ないことが多いと聞いていますが、杉並区の場合はそういうことはありますか。

**学務課長** 例えばいまの高井戸中学校で申し上げますと、13年度の学校希望申請が93名。これに対して抽選で絞り込んだわけですが、結果的には20名、14年度が22名、15年度が31名ということです。いちばん新しい15年度が31名と申し上げたのは、これは30人の募集に対して、区外で高井戸中学校以外を希望されたお子様がたしか8名ほどいらっしやいまして、38名を抽選で受け入れて、その結果31名残りました。ですから歩留まりと申しますか、申請された方がそのまま高

井戸中に行くという割合は高いと思います。

**大蔵委員** 抽選に当たっていて辞退したときは、それは繰り上げているのですか。

**学務課長** 繰り上げは行っていません。

**大蔵委員** それでは、辞退されたときはそのまま減るということですね。

**安本委員** 15年度では63.4%ということなのですが、いまのお話は国立、私立に行かれた方というお話だったと思いますが、希望申請を出しても結局やめて元に戻ったとか、そういうものももちろん入っていますよね。すべてが私立、国立に行かれたというわけではないですよね。

**学務課長** 希望申請をされた方については、基本的に希望された学校に行っていただくことを原則としております。希望を取り消すということはありません。

**安本委員** そうすると、666名が希望申請を出して、422名が行ったということは、240名ぐらいは国立・私立等に行き、ほかの杉並区内の公立の学校に行ったということはない、ということですね。

**学務課長** ご指摘のとおりです。傾向としましては、中学校に限っては、約3割が国立・私立に行っていますので、そういうことかと思えます。

**大蔵委員** いまの差の中で、666名と422名の間には抽選漏れの人がいるわけですね。

**学務課長** 高井戸中学校のほうは、希望は81名で、実際はたしか30数名ということで絞り込んでおりますので、ご指摘のとおりです。

**宮坂委員** 繰り上げをしないということは、結果的に定員を割るということが理屈としては考えられるのですが。

**学務課長** 一応、40名を基本に募集しまして、それに対してそれぞれの学校の数が出てくるわけです。希望の数がそれぞれ減るわけですから、枠としてはゆとりが残るという結果になるかなと思います。

**委員長** ほかにございませんか。ではこの件についてはこれで終わりにして、次の「区立幼稚園園児在籍状況について」、ご質問、ご意見がございましたらお願いいたします。特にございませんでしょうか。ほとんど例年どおりということで、ご質問等はないかと思えます。では、報告については聴取したことにいたします。

最後に、「杉並区教育委員会共催・後援名義使用承認一覧」のご説明を社会教育スポーツ課長からお願いいたします。

**社会教育スポーツ課長** 私から教育委員会共催・後援名義使用承認につきましてご報告いたします。表をご覧ください。4月分の承認につきましては、社会教育スポーツ課で受け付けたものは、定例40件、新規8件です。共催・後援別では、共催18件、後援30件となっております。それから、

社会教育センターで受け付けた分が9件ありまして、定例8件、新規1件、共催・後援別では、共催9件ということで、4月分の合計につきましては57件、定例48件、新規9件、共催・後援別では、共催27件、後援30件という状況です。

それでは、新規についてご説明させていただきます。次のページでは、社会教育スポーツ課で受け付けました1～8までが新規の後援分です。1は「橋本スタジオ朗読コンサート」という団体が行います朗読コンサートで、これは三鷹市芸術文化センターで行うものです。杉並区民を招待したいということで、後援を承認したものです。

2は「東京第三友の会」が行います講演会です。「日々の生活の中で育む文化 - 子供の未来のために - 」、こちらはセッション杉並で行います。

3は「親子で音楽を楽しむ会」が行いますファミリーコンサートです。勤労福祉会館ホールで行います。

4と5は、「杉並区文化・交流協会」が行う事業でございます。一つは、いま開催中の美術鑑賞入門講座で、高円寺地域区民センターで行います。もう一つは、「親子で楽しむメルヘン・オペラ『ヘンゼルとグレーテル』」で、セッション杉並で行われます。

6は「ストレス対策委員会」という団体が行う「心とからだの健康セミナー市民公開講座」で、武蔵野公会堂で行うものです。杉並区民にも広く周知してほしいという趣旨から承認しました。これは心療内科の先生方が中心となって行う講座です。

7は「特定非営利活動法人多言語広場 CELULAS」が行います「多言語教育セミナー『ことばと心の扉を開いて』』というセミナーです。さまざまな国の文化、価値観等を学んで、国際理解教育に役立てるといふ趣旨の催し物でございます。なかのZEROホール、スマイルなかの等で行うものですが、杉並区のほうでも推奨していただきたいということもあって、後援を承認いたしました。

8は「NPO法人日本児童文化教育研究所」が行います「第16回夏のとうきょうふれあいキャンペーン事業」です。これは東京都が行うもので、この中の一環といたしまして、「百人一首源平かるた親子教室」を阿佐谷地域区民センターで行います。

新規については4ページになります。こちらは社会教育センターで受け付けた新規共催のもので「特定非営利活動法人図書館サービスフロンティア」が行います「すぎなみコミュニティカレッジ」です。「生活と仕事に役立つ図書館を目指して」ということで、利用者の視点から図書館サービスはどうあるべきか、また図書館利用の新しい方法等について連続講座で行います。セッション杉並で、これも現在開催中です。以上が、新規の共催・後援の説明でございます。私のほうからは以上です。

**委員長** ご質問等ございましたら、お願いいたします。4ページ目の図書館に関わるコミュニティカレッジというものですが、このNPOはいまでもいろいろ活躍されているのですか。

**社会教育スポーツ課長** いま図書館サービスに関するNPO法人といたしまして、図書館のほうともやっています。

**中央図書館次長** このサービスフロンティアというNPOですが、昨年10月に法人申請をいたしまして、今年の2月に認可が下りた法人で、地域で図書館行政について、区民の皆さんと一緒に考えていこうと、立ち上げて、運動されている団体です。

**委員長** こういう図書館に関わるNPOは、ご存じの団体だけでいくつぐらいあるのでしょうか。

**中央図書館次長** いまのところ、区内で法人化という形で立ち上げられているのは、ここ1カ所でございます。

**委員長** 全国各地で読書活動の基本計画やいろいろなものが活発になり出していますからね。杉並区でもそういった点で今後の活躍が期待されると思います。ほかにございますか。ないようでしたら、これで閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

**庶務課長** 次回の日程でございますが、5月26日(水)午後2時からということで、予定どおり定例会を行います。よろしくお願いいたします。